

東播センター合唱団機関誌

第31号 2004年10月29日

発行 東播センター合唱団 機関誌部

<http://homepage3.nifty.com/oskyiuenk/>

兵庫のうたごえ発表会(10月17日 新長田ピフレホール) 東播センター、堂々4位の成績 タカサゴヤーズも健闘!



左：本番前に廊下で発声練習をしている東播のメンバー

下：タカサゴヤーズの本番の演奏姿



恒例のうたごえ発表会。今年は新長田のピフレホールで開催されました。出演団体は、独唱、小編成、器楽の部が15団体、一般の部が10団体です。審査員として、いつもお世話になっている川辺先生がみえられ、なごやかな(緊張した?)雰囲気もありました。東播センターでは小編成として「タカサゴヤーズ」が昨年に引き続き参加、もちろん、東播センターとしても、一般の部で出演し、「ふるさとの青い空」と「ねがい」を歌いました。

発表会全体の講評として、「個人のレベルが向上している」という言葉がありました。ただ、「情感を出すためか声を飲み込んでしまって、声をとぼしていない」

というような辛口の講評もありました。でも、それぞれの団体が技術レベルのアップを目指して練習を積んでいる様子が表れていました。

東播センターへの講評として、「男女のバランスがよく、発声も良くなっている」

「やわらかい声で魅力的」
「暗譜でのびのび歌っていて好感が持てる」

「効果的にクレシェンドを使って、盛り上がりがあった」

といった手応えのある講評で、点数も平均8.6と高得点で、一般の部で4位。沖縄行きを辞退していなければ、準推薦が得られたところでした。声をもう少し出した方がいい、ハミングに磨き

をという希望も出されましたが、以前ならば、
「バランスが悪い」
「指揮がなくてまとまりがない」
などと言われていたことからみれば、上出来ではないでしょうか。
タカサゴヤーズへの講評は「やさしい音色の三重奏で情感がある」というおほめと、

「起承転結に工夫を」
「発音に注意」
「声を飲み込み過ぎ」
といった努力目標も出されました。今後も向上を目指してやっていきたいですね。
来年は東播センター全員で広島を目指しましょう。

女性のうたごえ交流会 (10月3日 兵庫県民小劇場) ハーモニーブーケ、WISHの2団体が参加

「女性のうたごえ交流会に参加して」

10月3日、女性のうたごえ交流会に出演しました。出演することを決めるまで少し迷いがありましたが、こういう経験も大切かな、と思い一大決心しました。

本番ではやっぱり緊張して、大海に放り出されたような気持ちになりましたが、団員の皆さんから受けたアド

バイスを思い出して歌いながら、無事演奏を終えることができました。

審査員の先生方に、いろいろご指摘をいただいたのでこれからのレッスンの課題として頑張っていきたいと思えます。わずかながらお誉めの言葉もいただいたので、素直に(単純に?)受けとめて励みにしていきたいです。

(ハーモニーブーケ 鈴木智子)

今後の行事予定

10月31日(日) 憲法改悪反対集会

10:00~ 歌で参加

11月13日(土) 午後7時~9時

うたごえ喫茶(喫茶あしたば)

11月21日(日) 加古川市民合唱祭

アラベスクホール

ふるさとの青い空他

11月20日~23日

日本のうたごえ祭典 in おきなわ

11月28日(日) 加古川市青少連協若い夢フェスティバル

太鼓と歌で出演

12月5日(日) 団レクレーション

2005年4月29日 グリーンピースコンサート

11、12月練習日

合唱 11月5日、12日、19日、26日

12月3日、10日、17日(24日は忘年会)

太鼓 11月10日、17日

12月1日、15日

余文録
え発表会は、全体的にレベルが上昇して、いると言われている中、いっぴ言葉をいただきましは、最初にタカサゴヤーズで舞台に登って、緊張も解けたあとの全体での合唱だったののび、気楽にのびのび歌えたのか、もしかしたらせん。りも、審査員の講評で、柔らかな響きが、出るように、なっていること、というところは、一人一人の発音が、よくなっている、という。よう。では、合唱団として、(たけ)